資料４

学び直しによる生涯にわたる活躍イメージ

⇨ 県民の学びの流れ

➖➖▶ 情報の収集の流れ

（仮）県リカレント教育推進センター（県生涯学習推進センター内）

●講座の提供

対象　学び直しの目的が不明確な学習者

講座　リカレント教育の入口部分、学び直しの動機付け

例）ＩＴ産業の現状、求められるスキルや人材

●さらなる学びのコーディネート

「学びの総合窓口」

・体系化した多様な学習情報の提供（リカレント教育や補助制度を含む）

・学習成果を生かす学習相談（社会教育士やキャリアコンサルタントを活用）

学習目的の明確化

学習に関する情報

学習に関する情報

学習目的に応じた学びの案内

身近な学び

公民館等

講座・学級

・教養講座

例）ネットワークリテラシー講座

・社会貢献講座

大学等

公開講座（教養等）

例）人工知能講座

職業につながる学び

職業訓練分野

・高等技術専門校

・専修学校

例）デジタル人材育成コース

・ポリテクカレッジ　等

例）電子情報技術科

農業分野

・農業大学校　等

医療福祉分野

・県立保健医療大学　等

その他共通

・大学、大学院　等

職業実践力育成プログラム

例）国際化サイバーセキュリティ学特別コース

修士課程、博士課程

例）情報科学専攻

講師力養成講座
企画力養成講座

地域社会での活躍

産業人材としての活躍

（仮）産学官連携リカレント教育推進協議会

・行政・教育機関・企業が連携
・産業界のニーズを共有
・リカレント教育の取組を協議